

健康推進部長目標

健康推進部長 越智 三奈子(おち みなこ)



当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当部の方針

2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて、健康推進部においては、保健センターの脱炭素化を目指し、令和5年度は、保健センター多目的ホールのLED化を行います。今後、公用車の買い替えの際には、EV化などに取り組みます。また、職員が、国が提唱する「ゼロカーボンアクション30」を意識して業務改善を進めることで、CO2削減につなげていきます。

健康推進部の仕事

健康推進部は、地域保健医療や保健衛生、国民健康保険や後期高齢者医療保険に関する事務を所管しています。保健医療課、国民健康保険課、保健センター内の健康管理課、健康づくり支援課の4課で構成され、保健医療計画の推進、国民健康保険等の給付、感染症対策、各種検診、予防接種、精神保健、母子・成人保健に関する事などを主な仕事にしています。

健康推進部の令和5年度の目標

所沢市保健医療計画に基づき、引き続き市民の健康保持・増進、医療提供体制の充実に取り組み、市民の生涯を通じた健康の保持増進を図ります。昨年度に引き続き、保健と介護予防の一体的実施事業を進めるほか、安心して出産子育てができるよう伴走型相談支援の充実に努めます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	所沢市保健医療計画推進事業	令和2年度から7年度までの計画として策定した「所沢市保健医療計画」について、目標指標の達成度や今後の市の方向性の各項目の取組状況を確認するなど、計画の進行管理を行います。	外部委員で構成する「所沢市保健医療計画推進委員会」により、事業の進捗状況等に対する評価をいただきます。 委員会の開催：年間3回以上開催します。	外部委員で構成する推進委員会を対面により3回、庁内推進会議を書面により3回開催し、計画の評価を行いました。 令和4年度における取組状況は概ね目標を達成しており、その評価結果について令和6年3月にホームページにて公表しました。
2	保健事業と介護予防の一体的実施事業	市民の状況やニーズを把握し、生涯を通じた健康の保持増進を図るため、保健事業と介護予防を一体的に実施する取組を進めます。	高齢者を対象として、ハイリスクアプローチ(個別指導・支援)及びポピュレーションアプローチ(通いの場等への積極的な関与等)を合わせて実施するものです。 ハイリスクアプローチ対象者(340人想定)全員に実施します。	ハイリスク対象者454人のうち、イベント若しくは訪問を通じてアプローチできた人数は374人でした。 ポピュレーションアプローチには、合計289人の参加がありました。
3	出産・子育て応援事業(伴走型相談支援)	妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図ります。	安心して出産・子育てができるよう、全ての対象者に対し、妊娠届出時、妊娠8か月頃、出生後に助産師・保健師による面談等を実施し、相談支援を行います。	妊娠届出時などの面談対象者は2,116人で、妊婦ご本人との面談率は97.9%となりました。 出産・育児についてのご相談の際や継続的に実施している情報発信等を通じて、必要な支援へ繋げるよう努め、相談支援の充実を図りました。
4	精神障害者アウトリーチ支援事業	地域で生活する、または生活しようとする重篤な精神障害者に、こころの健康支援室と連携して、多職種チームによる訪問支援等を行います。	今年度は、障害者本人、家族をまるごと支援する「メリデン版訪問家族支援」の手法等を取り入れながら個々に合わせた支援を行います。また、アウトリーチの契約期間が令和6年度中に満了することから、次期契約に向けた事務を進めます。	支援対象者の状況を見極め、必要とされる世帯にはメリデン版家族訪問支援の手法を取り入れながら、令和6年3月末現在93人に支援を行っています。 また、事業をより効果的に行えるよう、次期契約に向けて仕様の見直し等を進めました。